

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 61 かがやくみとのよ	讚美歌 256 つみのやみ われにせまりて
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 創世記 4:13~16	黙 禱
マタイによる福音書 18:21~22	主の祈り 564
讚美歌 402 主のしもべの	讚 詠 546 聖なるかな、せいなるかな
説 教 『赦せなくても、赦される』	祝 禱 後 奏

妬みから弟アベルを殺した兄カイン(創世 4:8)。その行為を悔い改めて「カインは主に言った。〔わたしの罪は負いきれません～わたしに出会う者はだれであれ、わたしを殺すでしょう〕(4:13~14)」。この告白に対し「主はカインに言われた。〔いや、それゆえカインを殺す者は、だれであれ七倍の復讐を受けるであろう〕(4:15)」。カインの子孫レメクも殺人を犯すようだが、二人の妻にこう語っている。「カインのための復讐が七倍なら、レメクのためには七十七倍(4:24)」。要するに、六代前のカインが神の「七倍の復讐」で守られたように、自分は「七十七倍の復讐」で守られているのだ、と。この大きな倍数ははたして現実なのか、それとも神の守護の力を言い表した誇張表現なのだろうか。

ペトロはイエスに尋ねる。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか(マタイ 18:21)」。ペトロは、自分なら一回か二回は赦せるが、主でもさすがに「七回まで赦せ」とは言うまい、と踏んで尋ねたのだろう。ところがイエスの答えは、遠い昔のレメクのようにとんでもない回数で、「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい(18:22)」。人間は一度でも痛い目に遭うと「糞に懲りてなますを吹く」のに、490回も「糞に懲りない」で赦せというのか。一神教の父権社会では、謝罪や赦免の際にきつい賠償を伴うことがあり、復讐は「骨折には骨折を、目には目を、歯には歯を(レビ 24:20)」と同程度に抑えておけよ、という規範があった。

イエスが命じた「赦し」は事実上無限定なもの。イエスが弟子に教え、私たちが受け継いでいる主の祈り(マタイ 6:9~13)、「我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え」。イエスは主の祈りを唱える私たちに命ずる。「悪を被っても赦し、その度に赦し通せ(18:22)」と。私たちが即座に「そんなことは無理、現実的ではない」と反応するだろう。私たちに無理でも、これは現実だ。

「七の七十倍までも赦しなさい(18:22)」という戒めは実行できない。だが赦しは、寛容や優しさや諦めで実現するものではない。赦しは無理強いされるものでもない。赦しとは、十字架を介した神からの働きかけ。「そのとき、イエスは言われた。〔父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているか知らないのです〕(ルカ 23:34)」という祈り。香油を注いだ罪深い女(7:37)もそう。「イエスは女に、〔あなたの罪は赦された〕と言われた(7:48)」。彼ら彼女らはイエスの十字架によって、神に「赦される」。

「七の七十倍までも赦しなさい(マタイ 18:22)」という実行不可能な戒めに意味があるのか。その度に「赦されて来た」現実を自覚し、我が身に負うことはできよう。私たちに「赦す能力」がない。私たちが「赦される」だけ、「赦しに与る」だけなのだ。寛容な者も、頑迷な者も、人間はおしなべて「赦される」のみの存在。そういう意味で「主の祈り」の訳には幾らか難がある。「我らが赦すごとく我らの罪をも赦し給え」では「私たちが赦すように私たちに赦して下さい」ではないか。原意に従って意識するなら「私たちに“借り”から自由にして下さい。(神がして下さいのように)私たちが他者を自由にしたのだから」。すべてはカインの昔から、「赦し」が継続している中での一場面なのだ。

「赦す」という言葉は元来、法的な縛り(負債など)関係から当該者を解き放つという意味。こんな神からの赦しと自由を、私たちは宣べ伝えていく。私たちに赦せなくても、神は彼らを赦し給う。

貨幣はモノやコトを交換する対価表に留まらない 人間を縛る冷やかな鎖でもある(マタイ 18:23~30)  
 今や貨幣は幻として膨張し世界を縛っている 赦しはその鎖を解く 教会は赦しの自由を宣教する

9/27(水)11:00~12:00 聖研・祈祷会。次主日 10/1 は役員会およびカレーの日です。牧師の動き:9/24, 2:30~分区委員会(日下部教会)。9/26 午前は山梨英和学院との懇談会、午後は分区分教師会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。